**2005 年 07 月 20 日（第 2 版）
＊2007 年 12 月 13 日（第２版）

＊製品届出番号 27B3X00069000030

器具器械９　X線管支持床支持台(37076000)
*一般医療機器（特定保守管理医療機器・設置管理医療機器）

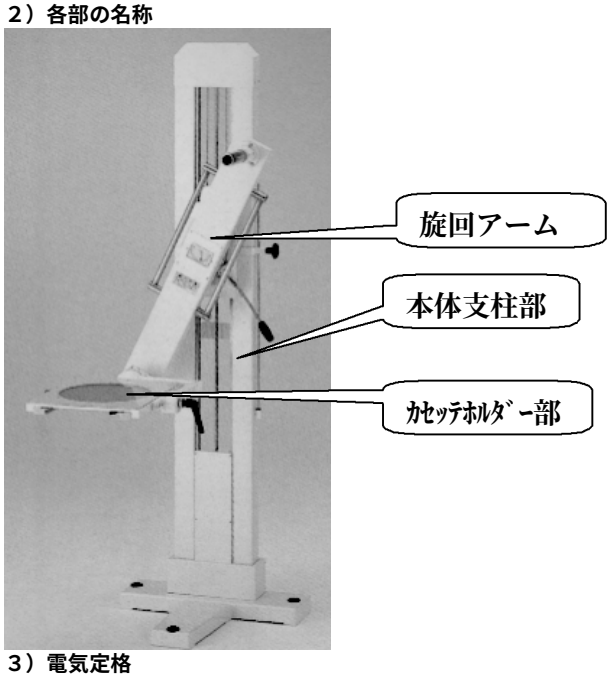
耳鼻科用撮影台ＳＡ－ＳＰ

【警告】
１．Ｘ線防護について
Ｘ線装置を誤って使用すると、身体に危害を及ぼす場合があります。
２．被験者に関する警告
・被検者が支柱部のレール、ワイヤーロープに触れない様ご指導願います。ケガや、衣服を汚す恐れがあります。
・被検者がレールにつまずかない様ご指導願います。
３．使用上の警告
・操作者は常に被ばくを防ぐ様に注意して下さい。
特に撮影中に撮影室に入室する必要のある時は、防護衣、防護装置等を使用し不必要な被ばくのない様に充分注意して下さい。
・Ｘ線管の保持部には指定以外の物を装着しないで下さい。
バランス不良による、ケガの恐れがあります。
・壁、床レールの取付面は耐荷重に充分な補強を行って下さい。

【禁忌・禁止】
・この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
・妊婦・産婦へのＸ線照射は避けて下さい。
・小児への過剰なＸ線照射は避けて下さい。

【形状・構造等】
１）構成
本装置は以下のユニットにより構成される。
（１）本体支柱部
（２）旋回アーム
（３）カセッテホルダー部
（４）支柱保持パイプ（オプション）
（５）壁又は天井レール（オプション）
（６）床レール（オプション）
詳細は装置付属の取扱説明書「第２章」を参照してください。

２）各部の名称



３）電気定格
使用なし

４）本体寸法及び質量
寸法本体（㎜）　幅 700　高 2170　奥行 870
質量　約 200Kg（Ｘ線管球含まず）

【性能、使用目的、効果・効能】
１）仕様　(単位mm)
支柱部
旋回アーム部上下移動　床上 900～1400　（ストローク 500）
機械式ロック方式
Ｘ線管球の回転角度　左 90°　右 90°
撮影距離(㎜)　900
支柱左右の移動　1200（オプション）
床、壁又は天井レール　2000、1600（オプション）
カセッテホルダー部
カセッテホルダー角度　前後 45°左右 45°
カセッテサイズ　六切縦横
分割　六切横 2 分割
グリッド　6:1、100cm、34 本/cm 円形
２）使用目的
この装置はＸ線管球と組み合わせて耳鼻科領域と立位撮影台と組合せて立位撮影に使用するＸ線管球保持装置です。

３）効能又は効果
Ｘ線管球部を上下、回転と移動させることができ、カセッテホルダーは前後 45°左右 45°に傾斜できるので、耳鼻科領域の撮影ができ、カセッテホルダー部を折りたたんで他の立位撮影台と組合せて胸部撮影ができます。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【操作方法又は使用方法等（用法・用量含む）】

使用環境条件

温度　　１０～４０℃

湿度　　３０～８５％

設置上の注意

①装置の設置は傾きの無い様に設置してください。

②本体又はレールをアンカーボルト等で床、又は壁、天井に固定して使用して下さい。

③壁、天井レール、又は本体を固定する場所は補強工事が施行されていることを確認する事。

④X 線管の取付はロールピン等で確実に固定すること。

操作方法

各部のストッパを緩め、ポジショニングを行う。

決定後は各々のストッパで固定する。

【使用上の注意】

禁忌・禁止

この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。

重要な基本的注意

①検査を開始する前に装置に異常がないこと、構成品、付属品が確実に固定されていることを確認すること。（各ストッパ関係）

②スライダ部や支柱、アームを移動させるときは、患者の手足等が挟まれないよう注意すること。

③検査中は、患者の様子や動作を常に注意すること。特に意識のない患者、身体に障害のある患者、精神に問題のある患者の検査中の状態については細心の注意を払うこと。

その他の注意事項

この装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となり、必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。

詳細は装置付属の取扱説明書を参照してください。

【作動・動作原理】

スライダ部の上下懸垂方式はカウンターバランス方式　ワイヤー２本吊りです。ワイヤーが 1 本切断されると上下移動がロックして動かなくなります。

【貯蔵方法及び使用期間等】

１）使用耐用年数（自己認証）

指定された保守点検を実施した場合に 10 年

２）定期交換部品

各部固定ストッパ

上下スライダ用ワイヤー

詳細及び保守部品の保有年数については取扱説明書を参照してください。

【保守・点検に係る事項】

１）使用者による保守点検事項

項目	点検頻度	点検内容（概要）
他の機器との干渉	日常	目視にて確認
各部走行動作	日常	走行動作確認
各部ｽｯﾄｯﾊﾟｰ動作	日常	固定動作の確認

２）業者による保守点検事項

項目	点検時期	点検内容
懸垂ﾜｰﾔｰの点検	１年	ヒゲやネジレの確認
各走行部	１年	ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞの動作確認
各部重要固定部	１年	固定ねじの増し締め

＊＊【製造販売業者及び製造業の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：三共医療機株式会社
住所：大阪市平野区加美東６－１４－２２
TEL：（０６）６７９４－１６００
FAX：（０６）６７９４－１６０６
製造業者：三共医療機株式会社
住所：大阪市平野区加美東６－１４－２２

取扱説明書を必ずご参照下さい。